

(1) 神田駿河台地域まちづくり協議会委員

順不同・敬称略

座長	青山 侑	明治大学 大学院教授
	藤本 健	駿河台西町会 会長
	佐藤 正幸	駿河台東部町会 会長
	鎌倉 勤	神田猿樂町町会 会長
	岩崎 與士	小川町三丁目西町会 会長
	宮越 太米造	小川町二丁目南部町会 会長
	仲谷 芳久	小川町三丁目南部町会 会長
	小端 協一	小川町北部二丁目町会 会長
	佐宗 孝雄	小川町北三町会 会長 (～平成18年5月13日)
	森 和夫	小川町北三町会 会長 (平成18年5月13日～) まえだれ会 会長
	瀬川 昌輝	お茶の水茗溪通り会 会長
	田沢 志郎	小川町商光会 会長
	佐宗 秀行	表商会 会長
	永代 達三	明治大学 総務部庶務課長
	松田 慎一郎	日本大学 業務理事 (～平成17年9月)
	高田 邦道	日本大学 副理事長 (平成17年9月～)
	服部 浩美	学校法人 服部学園 理事長
	櫻井 安彦	財団法人 佐々木研究所 常務理事
	ニコライ神父	日本ハリストス正教会・東京復活大聖堂教会
	吉川 滋	三井住友海上火災保険株式会社 総務部不動産担当部長
	石田 正樹	日本出版販売株式会社 不動産事業部長
	山崎 隆司	東日本旅客鉄道株式会社 投資計画部担当部長
	西野 健	東京地下鉄株式会社 鉄道本部計画管理部計画課課長補佐 (～平成18年3月)
	松坂 義徳	東京地下鉄株式会社 鉄道本部計画管理部計画課課長補佐 (平成18年4月～)
	座間 充	千代田区 まちづくり推進部長

事務局：千代田区まちづくり推進部

[平成18年6月現在]

(2) まちづくり基本構想の検討経緯 (神田駿河台地域まちづくり協議会)

	日時・場所	議題
第1回	平成17年2月16日(水) 18:00～ お茶の水小学校	●神田駿河台地域まちづくり協議会設置要綱の説明 ●座長の選出 ●資料説明 ・神田駿河台のまちづくりについて(たたき台) ・当面の神田駿河台地域まちづくりスケジュール
第2回	平成17年4月19日(火) 18:00～ お茶の水小学校	●神田駿河台地域の『まちの機能イメージ』の検討について ●日本大学お茶の水キャンパス構想について (日本大学による説明)
第3回	平成17年7月15日(金) 18:00～ お茶の水小学校	●神田駿河台地域の『まちの主な課題』の確認について
第4回	平成17年9月16日(金) 18:00～ お茶の水小学校	●明大通り西側地区整備について(明治大学による説明) ●地域の抱える課題への対応イメージについて ・課題1【駅】 駅舎(JR御茶ノ水駅/東京メトロ新御茶ノ水駅など)、駅前広場、茗溪通りと沿道、神田川等
第5回	平成17年11月15日(火) 18:00～ お茶の水小学校	●地域の抱える課題への対応イメージについて ・課題2【歩】 オープンスペース、歩行空間 ・課題3【駐】 路上駐車・パーキングメーター、路外駐車場、路上駐輪・バイク、路上看板 ・課題4【バリアフリー】ユニバーサルデザインの導入 ●御茶ノ水駅バリアフリー計画〔案〕について (東日本旅客鉄道株による説明)
第6回	平成17年12月13日(火) 18:00～ お茶の水小学校	●地域の抱える課題への対応イメージについて ・課題5【環】 地球温暖化・ヒートアイランド対策 ・課題6【防】 大規模地震災害、施設・組織・拠点の連携と協力 ・課題7【景】 みどり豊かな街路、景観資源 ・課題8【住】 多様な居住、生活の利便性 ●御茶ノ水駅ホーム改良計画〔たたき台〕について (東日本旅客鉄道株による説明)
第7回	平成18年2月10日(金) 18:00～ お茶の水小学校	●JR御茶ノ水駅及び駅前広場の規模の考え方について ●まちづくり基本構想の取りまとめについて
第8回	平成18年3月29日(水) 18:00～ お茶の水小学校	●まちづくり基本構想の最終取りまとめ
	パブリックコメント 平成18年4月20日～5月10日	●基本構想(素案)報告とアンケート実施 ●アンケート 33件
第9回	平成18年5月23日(火) 18:00～ お茶の水小学校	●パブリックコメントの結果 ●まちづくり基本構想(本編・概要版) ●スケジュール

(3)皆様からいただいたご意見

4月20日に「神田駿河台地域まちづくり基本構想」(素案)を区のホームページ、出張所の窓口閲覧により公表すると同時に、皆様からのご意見の募集を実施しました。短い期間にもかかわらず、多数の方からご意見をいただき、まことにありがとうございました。いただいたご意見とそれに対する協議会及び区からの考え方を紹介させていただきます。

今後も、地域のまちづくりを進めていきますので、ご協力よろしくお願いします。

1. パブリックコメントの概要

募集期間 平成18年4月20日から5月10日まで

提出状況 33通 67件

提出者属性 ●女性5名 男性25名 法人1名 無回答2名
 ●地域内在住1名 地域内在勤11名 三崎町在勤1名 地域内在学15名
 法人1名 無回答4名
 ●20代9名 30代7名 40代4名 50代4名 60代3名 法人1名
 無回答5名

2. 素案に対する評価

	適切	概ね適切	不適切	無回答
まちづくりの基本的考え方 (地域の連携による将来像の共有、個別開発による地域貢献)	10件 30%	16件 49%	3件 9%	4件 12%
地域の将来像	8件 24%	20件 61%	1件 3%	4件 12%
地域の抱える課題とその対応	11件 33%	16件 49%	1件 3%	5件 15%

3. コメントの内訳

- 基本的な考え方 17件
- 地域の将来像 12件
- 駅・駅周辺整備 13件
- 歩行者空間の充実 6件
- まちの活性化 4件
- 街並み 5件
- 今後の推進体制 4件
- その他 6件

4. 主な意見と協議会・区の方

【地域まちづくりの基本的考え方】

(連携・協調によるまちづくり)

- 御茶ノ水には、大学・病院・鉄道事業者・開発事業者など多様な主体が存在しており、魅力あるまちづくりを進めるには、将来像を共有し、それぞれの主体が連携したまちづくりを進めることが重要である。
- まちが大きく変わる機会をとらえ、事前にまちの将来像を共有し、それぞれの開発を誘導することは重要である。

個別開発がバラバラに進めば、これまで培われてきた「まちの魅力を」損ないかねないことから、本構想は、地域の協議を通じ将来像を共有することで、個別開発を適切に誘導するとともに、地域課題の解決に向け、各主体が積極的に貢献する、地域の連携協調によるまちづくりを進めることをねらいとしています。

(構想の具体化)

- 基本構想は概ね適切だが、具体的な姿が見えにくい。今後、具体的なルールづくりを進めるとともに、具体的な整備の姿を明確にしてほしい。
- 基本構想が絵に描いた餅とならぬよう、具体化を進めてほしい。

基本構想は、地域の将来像の基本をおおまかに示すものであり、今後、まちづくりのガイドラインの検討や駅・駅周辺整備構想の策定を進めていく中で、具体化に取り組んでいきます。

(幅広い参画)

- 地域の連携・協働によるまちづくりを進めていくためには、協議会だけでなく、幅広く意見を汲み上げる工夫をしてもらいたい。

この地域に関心をお持ちの幅広い方々からご意見をいただきながら、まちづくりを進めたいと考えており、本構想の策定にあたっては、パブリックコメントを実施しました。今後も、適宜協議内容を公表し、幅広くご意見を伺っていきます。

【地域の将来像】

(回遊による賑わい、居住の推進)

- この地域は、学生街であり、平日に比べ、学生が休みとなる土曜・日曜には、人が集まりにくい。古書・楽器・スポーツ用品の専門店街、週末に集客力のある秋葉原との連携や、学生・大学関係者や学びを求める高齢者等の居住を促進することで、土日も賑わいのある地域としてほしい。

本構想では、「まちの回遊性と居住性」をまちづくりの視点の一つとし、地域の将来像について、「多様な人々が行き交い、思索しながら歩けるまち」、「健康で学びと文化を楽しめる都心居住が進むまち」を掲げています。

周辺の個性あるまちとつながる回遊ネットワークの形成や、教育・医療施設の集積を活かした健康と学びを楽しむ居住など、推進の方向性を整理しており、検討の具体化を図っていきます。

(幅広い世代をターゲットにするまち)

- 社会人学生の増加とともに、公開講座等、年配者の学びも拡大しており、いわゆる大学生世代だけでなく、30代から60代まで幅広い層に魅力あるまちにして欲しい。

ご指摘いただいた点については、本構想においても、まちづくりの視点として、「幅広い年齢層をターゲットに、多彩な能力や力、文化を育てる」ことを掲げています。

今後、生涯にわたって学び、自己を磨く意欲のある多様な人々に応える「学びの場」・「交流の場」の創出等、教育機関との連携のもとに検討を具体化していきます。

【駅・駅周辺整備】

- お茶の水駅には、エレベーターがなく、ホームも相当に混雑する。病院が多い地域でもあることから、バリアフリー化と安全性の向上を早急に進めてほしい。
- 「駅・駅周辺の安全性・快適性の向上」は、提示されている地域の課題の中で、最優先の課題である。

駅・駅周辺の整備については、駅のバリアフリー化、安全性・利便性の向上や、駅前広場空間等の安全・快適な歩行者空間の整備、回遊の拠点としての魅力の創出等、地域の魅力の向上に向け、大変重要な課題であると考えています。

18年度から、整備構想の策定に取り組み、整備の具体化を進めていきます。

また、本構想においても、神田川沿道は、都の水辺再生の取り組みと連携し、親水性の高い空間の創出に向けて、今後、検討を進めて参ります。

- ホーム上に人工地盤を設置する整備案は、よいアイデアだと思う。駅舎は高層とせず、広場空間からは、神田川の眺望を楽しめるようにするとともに、神田川の水辺・緑との調和を意識してほしい

駅・駅周辺の整備にあたっては、安全性・快適性・回遊性の向上とともに、聖橋・神田川等の景観・歴史的資源に配慮し、地域のゲートにふさわしい街並みの形成を図っていきます。

また、都の水辺再生の取組とも連携を図りつつ、親水性の高い水辺空間の創出を図っていきます。

【歩行者空間の充実】

- 地域全体にわたり歩道が狭く、歩行空間が不足している。建築空間の工夫や交通規制等により、混雑を緩和し安全性を高めてほしい。

本構想においても、安全・快適に移動できる「歩行者空間の充実」を地域の課題とし、建物の機能更新にあわせたオープンスペース・歩行空間の確保や公開空地のネットワーク化、交通規制、路上駐車対策等、方向性を整理しています。

今後、ゆとりある歩行者空間の創出に向け、検討を具体化していきます。

【まちの活性化】

- 周辺の芸術大学を中心とした芸術祭のような文化発信イベントを、地域のサークルや高齢者も交えて実施し、文教地区の魅力を出すと、より活気あるまちになると思う。
- 御茶ノ水周辺の景観は歴史的建造物もありすばらしい。ボランティアガイド等、地域案内をセットした、御茶ノ水散策ツアーなどを企画するとよい。

本構想では、地域の将来像として、「多様な人々が出会い、学び、人と文化を育てる、風格あるキャンパスタウン」を掲げ、多様な人々が出会い、交流する中で、様々な文化を創造し、発信するまちを目指しています。地域の特色である教育機関と地域との連携による文化交流活動の展開を図っていきます。

また、地域の魅力の向上・アピールに向け、学生・企業・地域による様々な活動やイベントが行われるオープンスペースの連続等の方向性を提示しています。

ご提案については、検討を進める上で、参考とさせていただきます。

【街並み】

- 景観資源の活かし方を具体的に検討してほしい。
- 文化のまちの風格を維持できるよう、建物の色や看板等、デザインの統一に取り組んではどうか。

本構想においても、通りごとの特性を活かした調和のとれた街並みの形成に向けて、主要な通りのイメージを概括的に整理しています。今後、通りごとの具体のデザインや神田川・ニコライ堂などの景観資源の活用について、検討を具体化していきます。

【地域まちづくりの総合マネジメント体制】

- 地域まちづくりを総合的にマネジメントする体制づくりに賛同する。ハードの整備だけでなく、観光案内所の運営やまちの美化などのソフト面も担当する組織として期待したい。

地域まちづくりのマネジメント組織については、当面、重点課題である駅及び駅周辺整備等、ハード面のまちづくりを担っていきます。

ご指摘いただいたタウンマネジメントについても重要な視点であると考えておりますが、まずは、ハード面のまちづくりを進めた後、将来的にあり方を検討してまいります。